

文化の力で大阪に活力を。

OSAKA*文化力

リレーエッセイ

私のsweet水都

レー・ドゥク・リュウ 在大阪ベトナム総領事

Front Opinion

関西に磨きをかける

寺田千代乃×藤岡幸夫×堀井良殷

「ハート大阪 秋まつり」レポート

・御堂筋kappo

10月12日・13日の

・中之島は大きな帆船

大阪ブランド物語

大阪発展のシンボル・御堂筋

大阪文化考

自由で独特な大阪に育まれた
漫画家としての歩み

里中満智子 漫画家

メセナを探せ

上野製薬株式会社

No.104

2008 WINTER・冬



レー・ドゥク・リュウ

在大阪ベトナム総領事

日本とは長い付き合い

ベトナムと日本の交流の歴史は古く、16世紀末から続いています。とくに1604年から1635年にかけては多くの日本の商船が両国間を行き来しており、なかでも末吉孫左衛門という大坂商人の名は、ベトナムでも良く知られています。また、ユネスコの世界遺産に登録されたホイアンという古都には、当時大規模な日本人街があり、1593年に日本人が建設したと伝えられる来遠橋（別名：日本橋）もあります。現在は、関西国際空港からベトナムの各都市への直行便が毎日就航しており、文化・観光の交流が活発化するとともに、両国の友好関係が一層促進されています。とくに経済面においては、大阪の食品、家電、鉄鋼など多くの企業が、ベトナムで活発な事業を展開し、両国政府の指導者は、さらなる経済振興に向けた戦略的関係を築こうと意見を一致させています。

関西全体との文化交流を

ベトナムと日本は、今年国交樹立35周年を迎えました。その記念行事として、今年9月16日にベトナムの国会議員団が来日し、「ベトナム文化の夕べ」が大阪市内で開催されました。また2010年には、首都ハノイは建都1000年祭を迎えます。時を同じくして、奈良県では平城遷都1300年を記念した事業が行われますが、私たちはこれらを契機として、関西地域全体との文化交流を促進したいと思っています。

外国人は京都や奈良へよく行きますが、大阪はこうした地域への観光ルートのひとつとして、重要な位置付けにあります。その意味で、水路を活かした「水都大阪2009」のような取り組みは、すばらしいアイデアだと思います。ベトナムの南部も川を活用して発展してきました。水上人形劇もそういうところから生まれました。大阪にも文楽がありますが、私たちの歴史的な文化も、いつかは是非ご紹介したいと思っています。

文化で共生する

ベトナムにはキュウ・ロン（Cuu Long）デルタという、豊かな自然と川に恵まれたところがあります。観光客も多く訪れるところですが、そこでは水上交通や水上マーケットなど、川が生活の一部となって活用されています。その川でお祭りも行なうなど、大阪と似ている一面もあります。

私は、在大阪ベトナム総領事として赴任してまだ1年ですが、大阪は、大阪城や四天王寺といった歴史的建造物に加え、文楽や歌舞伎、生け花、茶道といった大阪発祥の伝統文化が、しっかり継承・発展しているところだと感じました。また、稲作や米食、蓮に対して感じる仏教的な精神性など、日本との共通点も多く発見しました。私は、これからはそうした素晴らしい日本の文化と世界の文化を交流させ、文化で共生する時代にあると思っています。

在大阪ベトナム総領事館（大阪市中央区）にて

レー・ドゥク・リュウ（LE DUC LUU）氏

外務省入省（1981）の後、同省ラオス、カンボジア、インドネシア、オーストラリアなどの東南アジア及び南アジア諸国地域担当、同省労働組合委員長、同省局長を歴任。2007年より現職。



表紙の人 / 里中満智子（さとなか まちこ）氏

漫画家・大阪芸術大学キャラクター造形学教授。創作活動以外にも多彩な社会活動に取り組む。平城遷都1300年記念事業協会評議員。P9に記事。



関西に磨きをかける

今回の鼎談は、平成20年10月に1か月限定で試行された、大阪版川床「北浜テラス」のなかの1軒「そば切りてる坊」で行われました(10月14日実施)。

寺田千代乃 × 藤岡幸夫 × 堀井良殷

関西経済連合会副会長

関西フィルハーモニー管弦楽団
首席指揮者

大阪21世協会理事長

かつてイギリスのチャーチル首相は、「お金を失うことは小さく失うこと、しかし勇気を失うことはすべてを失うことだ」といったという。大阪・関西においても、地盤沈下だと自信をなくし、自らの可能性を閉ざしてしまっはすべてを失うことになる。こういう時こそ自らのあるべき姿を信じて磨きをかけ、魅力ある都市像を示すべきである。そのためには何を考え、どう行動すればいいのか。関西経済界・音楽界の第一線で文化振興に尽しておられるお二人に聞いた。

民の力

堀井 アメリカに端を発した金融不安で、世界経済が混乱しています。大阪・関西もその波を受けて不景気感がつのっています。とはいえ文化振興にプレーキをかけてはならないと思いますが、寺田さんはこの状況をどう見ておられますか。

寺田 たしかに経済界をとりまく環境は非常に厳しいです。だからといってさまざまなマーケットがなくなるわけではありません。景気は「気」の持ちようだともいわれます。数々のピンチをチャンスに転じてきた、関西経済人のマインドが大切です。これは文化振興も同じです。

堀井 寺田さんは「美しい大阪をつくる百万本のバラの会」の実行委員長でもあります。ここから改修中の中之島バラ園が見渡せ

ますが、こうした風景を磨くことで、まちはとても魅力的になりますね。

寺田 大阪には歴史的な文化や自然など、ブラッシュアップすることで、とても魅力的になるものがたくさんあります。また、それをすることあたっては“民”の力がとても大きい。「百万本のバラの会」は一人百円の寄付で百万人の参加を呼びかけています。バラは春と秋の2回楽しめますから、それで中之島を囲めば水辺の風景が一層美しくなるでしょう。

堀井 海外経験の豊富な藤岡さんは、外国の水辺の風景にどのような印象をもっておられますか。

藤岡 ロンドンのテムズ川、ドイツのライン川、チェコのモルダウ川など、まちの中心部に川が流れていて、それを市民が愛して使って

いるのは、ごく自然な風景として感じていました。

堀井 中之島はパリ・セーヌ川のシテ島と似ていると言われますが、これも磨かなければ活かせません。そこで今年10月、水の都・大阪の魅力をもっと楽しんでもらおうと、土佐堀川に面したレストランなどが「北浜テラス」という大阪版の川床を試行しました。その1軒がこのお店で、川をはさんで中之島のバラ園や「ばらぞの橋」が見渡せます。来年開催の「水都大阪2009」には、こうした川床がずっと出てほしいなと思っています。

藤岡 川べりに洒落たお店があって、美しい花や緑があれば、人も自然と集まるでしょう。そこで憩う習慣ができれば素敵ですね。

寺田 日曜日の朝早くに、犬を連れて中之島を散歩したことがあります。休日の中之島は、静かで独特の美しい雰囲気がありますよ。

藤岡 私も散歩は大好き。まちに出て、人々の話し声を聞きながら歩くのが楽しいんです。じつは私の母と妻は関西の生まれ育ちで、母は生前、最期は関西で暮らしたいといっていました。だからまずは、「ふるさと納税で、お金の代わりに息子を関西にお返しします」ってね。

堀井 そうですか。息子さんを差し出されたお母様にも、私たちは感謝しない。

チャンス発見都市

堀井 藤岡さんご自身は東京のお生まれですが、大阪に本拠を据えて音楽活動をしようと思われたのはどうですか。

藤岡 私は1995年に日本フィルハーモニー交響楽団（東京）の指揮者として日本デビューしましたが、30代の若い私に、とても多くの良い経験をさせてくれたのが関西でした。だから2000年に関西フィルハーモニー管弦楽団から声をかけていただいたときは、と



堀井良殷 理事長

でも嬉しかったですね。
堀井 関西ではどのような経験を積まれたのですか。
藤岡 関西フィルから声がかかる前は、大阪の放送局がシンフォニーホールで私を長く起用してくれたり、大阪新音から、京都市交響楽団（京響）でベートーヴェンの「第九」を3年間毎年7公演も指揮する機会をいただいたこともありました。これってすごいことなんです。第九の指揮はとても難しいうえに、京響を一度も指揮したことのない私に、そんな大きな契約してくれるなんて、おそらく大阪新音は、「どうせ1年目はたいしたことはないだろうけど、藤岡に才能があれば3年も続けてやらせたら良いものになるだろう」という考えで、若い私にチャンスを与えてくれたんだと思います。また、フェスティバルホールで行われている大阪国際フェスティバルですが、2000年の第42回のオープニング公演で、指揮者に起用していただいたこともあります。オーケストラは地元大阪フィルハーモニー交響楽団でした。関西は若手を思いきって使ってくれるところです。こうした経験は私にとって大きな肥やしになり、とてもありがたく思っています。

寺田 昔のようなタニマチではありませんが、大阪・関西では、才能



藤岡幸夫（ふじおか さちお）氏

1962年東京生まれ。幼少よりピアノ、チェロを学ぶ。慶應義塾大学文学部卒、英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒。1995～2000年 マンチェスター室内管弦楽団首席指揮者。95年の日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会の指揮者として日本デビュー。2000年関西フィルハーモニー管弦楽団正指揮者、07年 同楽団首席指揮者。

のある人を育てようと呼びかけたら、結構多くの賛同者が集まるんです。

藤岡 そうですね。若い人の才能や、事業などの新しいアイデアをしっかりと応援してくれる土壤があると思います。

寺田 私が興した「引越サービス」も、大阪で事業化に成功しました。インスタントラーメンやスーパーマーケットのように、大阪発祥で全国に広まったものはじつに多くあります。

堀井 大阪人は、本物を見る眼をもっていると思います。まさにチャンス発見都市です。

批評家を育てる

堀井 藤岡さんはヨーロッパで長く活躍されましたが、海外から日本の文化のありようをどのように見ておられましたか。

藤岡 1995年から6年間、イギリスのマンチェスターに住んでいました。そこから見た日本の文化や経済は、東京だけしか発信していないように感じました。ヨーロッパでは、マンチェスターをはじめミュンヘン、ハンブルグ、バーミンガム、ボルドーなど、各国の地方都市がしっかりとしたステイタスをもち、さまざまな文化を発信しています。日本は先進国だといわれていますが、なんでもかんでも東京に一極集中しているようでは、まだまだ発展途上だと思いましたね。

堀井 クラシック音楽の分野ではどうでしょうか。

藤岡 日本と欧米の大きな違いをひとつ上げるとすれば、それは「批評」です。欧米では、定期演奏会を行った1～2日後には、新聞各紙に必ずその批評が掲載されます。若い演奏家や作曲家、オーケストラにとって、批評を受けることはとても大事。批評家がオーケストラや作曲家、演奏者を育てるといっても過言ではありません。しかし日本では、そうした批評が皆無に等しい。

堀井 正しい批評がたえず載っていることが、良い演奏家を育て、良い観客をつくりだすと。

藤岡 もちろん、だめな演奏会は酷評していいんです。でも1紙だけじゃアンフェアだし、叩かれるオーケストラもたまったものじゃない。こっちの新聞は叩いているけど、あっちの新聞は褒めているという状況が必要で、それがわかればクラシックに興味を持つ人も増えるでしょう。



寺田千代乃 (てらだちよの) 氏

神戸市生まれ。1968年、夫の寺田寿男氏と寺田運輸株式会社を設立。アートコーポレーション(アート引越センター)の創業者で、「引越サービス業」の生みの親と呼ばれる。2002~04年 関西経済同友会代表幹事、05年より現職(いずれも女性初)。

堀井 以前、本誌にご登場いただいたブロードウェイミュージカルのプロデューサー・出口最一さんも、劇評家が観てくれて、どういふ批評をしてくれるかが、ものすごく大事だとおっしゃっていました。劇評家の一言で、まったく無名のミュージカルが一夜明けると大評判になることもあるそうです。

藤岡 私もデビュー当時は無名の指揮者でしたが、ロンドンタイムスが絶賛してくれたことで一躍有名になり、仕事の依頼が急増しました。

寺田 ちゃんとした批評のできる人や媒体も必要ですね。

藤岡 批評家にしても、たまにしか新聞に取り上げてもらえないから、どうしても遠慮した書き方になる。褒めているのか、叩いているのかよくわからない感想文みたいになってしまいます。批評の場が増えれば批評家たちもしっかり勉強し、育つでしょう。東京でこうしたことはできていませんから、まずは関西からちゃんとした批評を発信すべきだと思います。

文化で「まち育て」

堀井 新しく観光庁が発足し、海外からの訪問客を2020年に2000万人に増やす目標を掲げています。これから海外からのお客さんが増えてくると、まちをもっと磨く魅力あるまちづくりが重要になってきます。その時のカギは文化です。ごちゃごちゃしているところが良いのだという人もいますが、それだけでは尊敬されるまちにはなりません。

藤岡 「ごちゃごちゃしている」というのは、いい意味でいろんな面を持っているということだと思いますね。それと、まちにも人にも、ラテン系のノリを感じます。

寺田 たしかに大阪は多様性に富んでいます。梅田から難波までの短い範囲だけでも、繁華街あり、北浜や中之島のように「はんなり」とした風情のいいところありと多彩です。また、東京から大阪へ転勤した人に、「大阪はいかがですか」って伺うと、大抵の方は「思ったよりきれいで安全なまちだ」っておっしゃいますよ。

藤岡 東京から来たとき、御堂筋の大きさと美しさに驚きました。ここで行われる「御堂筋kappo」って、素敵なアイデアですね。

堀井 御堂筋は44メートル幅で4キロもある大阪のシンボルです。

ともあれ大阪が汚くて怖いというイメージができたのには、長い歴史的経緯があるというのが私の意見です。また、大阪人自身が自虐的にそれを受け入れてしまったのも残念なことです。安心・安全なまちであることは大前提として、大阪にはこうした素晴らしいインフラや施設、文化がたくさんあるのですから、もっと自信を持ってほしい。その意味で寺田さんは、2003年から3年間、大阪ブランドコミッティを組織して大阪のブランディング活動を主導してこられました。また、2005年からは関西経済連合会の文化観光担当副会長として、関西全域のブランディング活動にも取り組まれていますね。

寺田 大阪についていえば、大川や水の都を象徴する川の回廊があるのに、これをブランドとして活かしきれていません。このことは、英国の大阪総領事だったポール・リンチ氏も指摘されています。かねてよりイギリスでは、政府主導によるクールブリタニア(かつていいイギリス)というイメージ戦略で、イギリスという国のブランディングに成果を上げていますからね。

堀井 関西経済連合会では、関西のブランド力を高めるためコンセプトづくりから活動計画まで取り組んでおられますが。

寺田 本年度の重点事業として「関西ブランド向上研究会」を発足し、関西がもつブランド資源を歴史・自然・暮らし・産業の4つのカテゴリーに分け、それらを知る(発掘する)、磨く、発信する活動を展開しています。関西には1500年を超える政治・経済・文化の中心地としての蓄積があります。私たちはこれらを有効に組み合わせ、関西の魅力を戦略的に展開することで、今まで以上の輝きを放つことができると考えています。

堀井 大阪といえば「お笑い、たこ焼き、タイガース」という東京発のステレオタイプなイメージが多いのですが。

寺田 だから私たちの活動は、「はなやか関西」というコンセプトを考えています。京都の王朝文化は「はなやかさ」そのものですし、奈良・吉野の桜や和歌山の梅など、関西には花の名所も多い。大阪は別名「浪花」といい、「はんなり」という言葉も「はなやか」が由来です。また、先進的なものづくりや、革新的なベンチャー企業も、関西の産業界をはなやかにしています。さらには霊場巡りのような民衆信仰も、はなやかな精神文化のあらわれといえるでしょう。私たちの活動には、そうした「はなやかさ」を、関西が一体となって世界に発信しようという意志があるんです。

藤岡 まさに関西州ですね。京都、神戸、奈良、和歌山、大津など、関西にはそれぞれ確固たる個性をもつまちが多く、私も大好きです。それと人の温かさ。関西フィルはその名の通り関西一円で公演をしますが、どこにいてもお客様の熱気がすごい。だからとてもやりがいがあります。

寺田 関西州が実現するかどうかはわかりませんが、ブランディング運動によって、関西がもっとも魅力的なエリアになることは確かです。

藤岡 そうして東京へ出て行った若い演奏家が、大阪や関西に戻ってくればもっといい。

堀井 藤岡さんのような優れた才能のある方が、大阪・関西を拠点に活動されていることは、とても嬉しいことですし、みんなで応援したいと思います。良い観客がふえることで文化のレベルが向上し、まちに活気が出てきます。それでこそ関西ブランドの魅力が光りを増すことになるでしょう。寺田さんも関連連の文化観光のリーダーとして、これからも力強くタクトを振っていただきますよう期待いたします。本日はありがとうございました。

ハート大阪
秋まつり
'08.10.12-13
Heart of OSAKA

秋晴れの御堂 みんな

御堂筋 kappo

平成20年10月12日(梅田新道～本町通り)

大阪21世紀協会や地元協力団体は今年10月12日・13日の2日間、これまでの御堂筋パレードに代わる「ハート大阪 秋まつり」を、御堂筋と中之島で開催しました。大阪のシンボルである御堂筋の魅力を国内外に発信するとともに、府民・市民が御堂筋を楽しむ「御堂筋kappo」と、川べりから水の都の良さを体感する「中之島は大きな帆船」の二つの構成で実施。多くの来場者が爽やかな秋晴れのもと、思い思いに大阪の魅力を再発見しました。

オープニング



熊谷信昭
大阪21世紀協会
会長

平松大阪市長の
「Let's kappo!」
のかけ声でスタート



大阪市役所前 ステージ (淀屋橋)



御堂筋kappoのメインエリア。

高校生マーチングバンドやチャアリーディングなどによるオープニングのあと、民間企業の協賛企画である百万本のバラ運動を呼びかけた「バラコンサート」や平松邦夫市長による「水都大阪2009」のみどころ紹介、地球環境問題をテーマにしたものなど、バラエティに富んだプログラムが展開されました。また、橋下徹大阪府知事と東国原英夫宮崎県知事によるお国自慢トークショーも会場を沸せました。

橋下大阪府知事(右)と
東国原宮崎県知事(左)



御堂筋ストリート陸上 (梅田新道エリア)

北京オリンピックの銅メダリスト・朝原宣治選手(大阪ガス)や、05年ヘルシンキ世界陸上銅メダリストの為末大選手(A.P.F)が、これまで応援してくれた大阪の人々への感謝の意を込め、特設トラックで世界レベルの“走り”を披露。小学生たちと“競技ラン”などを楽しみました。



朝原選手はやっぱり早かった!



平松市長(左)と大阪観光大使
の三倉茉奈さん・三倉佳奈さん

サントリーが開発した「青いバラ」も
登場(バラコンサート)

なにわ自慢エリア (梅田新道エリア)

大阪を元気にしよう!と集まった、さまざまな分野の団体が日頃の活動を紹介。紙芝居や甲冑の試着(歴史・文化)や、廃油キャンドル作り(環境・科学)、手話コーラス(福祉)など、参加者と一緒に「大阪を元気にしよう!」と呼びかけました。

大阪と全国の (伏見町～備後町)



街角コンサート (淀屋橋～本町)

ジャズ、ポップス、ゴスペル、クラシックから邦楽まで、12ステージに80組・400名以上が出演。多彩なジャンルの音楽が、御堂筋のオフィスビル街にこだましました。



ビッグバンドジャズ・オーケストラ(淀屋橋付近)



「大阪国際人形劇フェスティバル2008」をPR

リュックサック展 (北御堂前エリア)



筋を なで闊歩!



箕面自由学園高等学校チアリーダー一部



観光・物産展



近鉄ライナーズ選手によるリフティング(味方を持ち上げてボールを取る)体験。

大阪府の名産品コーナーや、全国の特産品コーナーなど約60ブースが出店。沖縄ドーナツ、鳥取バーガーなど、ご当時グルメの食べ歩きが楽しめました。

大阪府の農産物加工品をPR



覧会

リュックサックに作品を詰めたアーティストやクリエイターによる、4時間だけの野外合同展覧会。油彩、イラスト、写真、廃材クラフト、雑貨、詩、書作など、さまざまなアートが路上を彩りました。

オープンカフェ (淀屋橋～本町)

闊歩の合間にコーヒーでひと休み。御堂筋沿いの4つのカフェが、御堂筋で臨時カフェをオープン。年配の方にも好評でした。



御堂筋ごみPLAY (淀屋橋～本町通り)

NPOスマイルスタイルが主催する、参加型ごみ拾いイベント。kappoに参加した一般の人たちにも参加してもらい、みんなで力を合わせて大阪のまちのイメージアップを図りました。



遊び心いっぱいのアートなごみ袋

10月12・13日の 中之島は大きな帆船

平成20年10月12・13日
(中之島公園・土佐堀川など)

帆船天文台

(10月12日/大阪市立科学館) 大阪市立科学館で、星座早見盤の見方を教えてもらったり、「メガスタープラネタリウム」の特別投影で、220万個の星降る世界を体感。屋外では、科学館学芸員の解説で天体観望会も行われ、110名の親子がひととき宇宙に思いを馳せました。



木星とその4つの衛星を観測(天体観望会)

夜の海へ ～世界の海でおとまり体験～

(10月12日～13日/淀屋橋～天保山～海遊館)

淀屋橋から天保山まで、水都大阪の「夕暮れクルーズ」を楽しんだあと、海遊館での探検ツアーへ。大水槽前で夜の魚の生態を観察しながら宿泊しました。目の前でジンベイザメやマンタが悠々と泳ぐなか目覚め、再び淀屋橋へ。水上から見る大阪の風景を満喫しました。



夜の魚の生態に子どもたちも興味津々(海遊館)

パイレーツ気分で水の都を満喫!

「よ〜く聞くんぞぞ!」
ちよっぴり怖い凶工
海賊から万華鏡作
りを教わる子ども
たち。



10月12・13日の 中之島は大きな帆船

平成20年10月12・13日(中之島公園・土佐堀川など)

中之島を大川に浮かぶ大きな帆船に見立てたイベント。親子で海賊に扮して冒険ストーリーを楽しむ「パイレーツ・オブ・ナカノシマン」や、中之島の景観を船や徒歩でたどる「クルーズ&ウォーク」、ふしぎな水鳥をつくるワークショップ、世界の味を楽しむフード屋台など、2日間にわたり多彩なプログラムが展開されました。



「これから中之島に乗り込むぞ!」(パイレーツ・オブ・ナカノシマン)



特設ステージでのブラスバンド演奏(中央公会堂前)



木漏れ日のなかをオーストラリア・クィーンズランド州警察音楽隊が行く。

水都大阪2009(2009年8月22日~10月12日開催)進捗レポート

新風物詩「北浜テラス」と1年前イベント「ラブリバー」を実施

水都大阪2009実行委員会(会長・平松邦夫大阪市長)は、来年開催の「水都大阪2009」の1年前を迎えた今年10月、北浜テラス実行委員会と共催で、大阪版の川床「北浜テラス」を実施しました。川床が設置されたのは土佐堀川左岸に面したイタリア料理店「OUI」、そば切り「てる坊」、泉州魚料理「十六夜北浜店」の3軒。プロデューサーの橋爪紳也氏(大阪府立大学特別教授)は、「河川区域の営業活動が厳しいなか、規制緩和と多くの皆様の熱意でスタートできた。今後は年間を通して川床が楽しめるようにしたい」と挨拶。今回は約1か月限定の実験的試みでしたが、「水都大阪の風物詩を」と望む同委員会は、来年度以降の常設設置をめざしています。また、10月12日には、道頓堀川・湊町リバープレイス(大阪市浪速区)で、川を身近に感じてもらうチャリティーイベント「ラブリバー」が開催されました。チャリティー音楽ライブやフードやグッズマーケット、水をテーマにしたアートエキシビジョン、スワンボートなど、多くの若者がお洒落な水辺の1日を楽しみました。



「てる坊」の川床からは、中之島公園「ばらその橋」など水辺の景観が楽しめた



水質浄化に効果があると言われるEM菌の入ったボールを道頓堀川に投げ込む橋下大阪府知事と平松大阪市長(ラブリバー開会式)



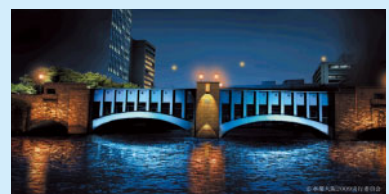
リバーマーケット

文化芸術の象徴 「錦橋」を ライトアップ

(平成20年12月13日~)

水都大阪2009でライトアップされる天神橋・難波橋・錦橋のうち、プレ事業として錦橋のライトアップを実施。今年12月、隣接のフェスティバルホールが約50年の時を経て建替工事に入るのを機に、その文化芸術の灯を象徴するライトアップとなります。

錦橋のライトアップ(イメージバース)



大阪発展のシンボル

御堂筋

大大阪の未来を託して

休日の夕方、難波から北に向かって御堂筋を歩く。広々とした歩道は最高の散歩道だ。ブランド店のウインドー、大丸、そごう、ガスビル、南と北の



御堂筋には30体近くの彫刻がある

御堂さん、日銀……風格ある建物と彫刻の女性たち、夕間に影を落とすイチョウの木。どこにもない大阪の風景がここにある。

大正3年に大阪市助役に就任した關一氏は、日本を代表する都市施策学者でもあった。当時の大阪は、明治40年の市域拡張により明治以前の整然としていた町並みが崩れつつあった。關氏はその原因を法の不整備にあると考え、国の都市化計画法の起草に尽力した。その先にあるのは一流の都市としての大阪の姿と御堂筋構想だった。



拡張前の御堂筋(淀屋橋南詰)
写真提供/ (財)大阪市都市工学情報センター

それまでの御堂筋とは、北御堂と南御堂を結ぶ南北の道のこと。淀屋橋南詰以南は淀屋橋筋と呼び、いずれも幅6mほどの細い道だった。道の両側には家

が並び、人々が生活している。そこを一挙に全長約4キロ、幅員24間(43.6m)に拡張し、地下には市営高速軌道を走らせる。電線を

地中に埋設し、並木や橋梁、街灯を整備し、沿道の建築物については高さ100尺(31m)制限……關氏の理想とした住み心地のよいまちとは機能と美しさを備えた都市だった。

3300万円を超える総工費の3分の1は市民に負担せよと宣言する。世にいう受益者負担の思想を実行したのは御堂筋が最初とされる。大阪はそれこそヤッサモッサの大騒動だったにちがいないが、大正15年、前人未到の大工事は始まった。その前年、大阪市は第2次市域拡張を行う。東京市を抜く大都市「大大阪」の誕生である。

子どものために地下道を設置

拡張計画を聞いた市民は「關市長は飛行場でも作るつもりか」と嘆いたのは有名な話だが、御堂筋を渡る人、とくに通学の子どもの心配をする声が高かった。その打開策として造られたのが順慶町、八幡筋(御津)、難波新地の3カ所の地下通路である。工費の一部は地元の篤志家の寄付に頼った。小さい子どものために階段の高さも低く造られていたそうだ。難波新地のそれは現在の地下鉄難波駅11番出口になっている。

昭和12年、御堂筋は完成した。まさしく飛行場のように広い御堂筋は夜になると周辺のやんちゃ坊主たちのローラースケート場になったという。大阪にたくさんの子どもの時代だった。

存亡の危機を乗り越えたイチョウ

金色の小さき鳥のかたちしていちょう散るなり夕日の丘に…与謝野晶子の歌の如く、夏には緑陰を広げ、秋になると黄葉して通行する人の心を優しく包む御堂筋のイチョウ。イチョウは公孫樹と書く。公孫とは王侯の孫のこと、つまり、ぎんなんは老木となったものに実るからだ。樹種の実現については大議論があったという。

昭和10年頃にこのイチョウに存亡の危機がせまった。防空壕の材木用という名目で軍から伐採命令が出されたのだ。大阪市は了解せず、そのうちに20年3月21日の大阪大空襲、そして終戦。船場一帯を焼け尽くした大空襲の日、人は御堂筋に出て命拾い、イチョウも生き残った。

現在、幹の太さが2メートル以上の樹齢90年の木も健在だが、この20数年で400本以上の樹木が植え替えられている。御堂筋沿いは夏場、周辺の道路よりも1~2度、気温が低くなるのはイチョウ並木の恩恵だという。

御堂筋は昨年、70周年を迎えた。95年には建物の高さ制限が緩和され、現在、数カ所でビル工事が進行中だ。御堂筋パレードや御堂筋kappoの舞台として、大植英次氏が指揮棒を振る大フィルのステージとして、それぞれのイベントを盛り上げる御堂筋。先人たちが残してくれた大阪の大きい遺産。古びることなく人々の心を豊かにしてくれる美しき御堂筋よ、永遠に。



現在の御堂筋

里中満智子氏に聞く――

自由で独特な大阪に育まれた 漫画家としての歩み

歴史の真実に迫って壮大な物語を編みあげる漫画家の里中満智子さん。作家活動のかたわら大阪芸術大学教授をはじめ、世界の漫画文化のリーダーとして活躍する里中さんに生まれ育った大阪への思いを語っていただいた。

東京に住んで気づいた大阪の特異性

私の両親はお互い片時も離れていたくないというくらい仲のいい夫婦で、毎週日曜日になると私と妹を連れて外出して、父が家族写真を撮るという生活でした。

天王寺動物園、大阪市立美術館、お花見、堤防や公園にお弁当を持ってピクニック、百貨店の屋上遊園地や買物……生まれたのも難波宮を北に仰ぐ場所にあった病院ですし、私の中に大阪のあらゆる場所や出来事がインプットされています。

それから大阪の味。小学校3、4年生の頃から体の弱かった母に代わって財布を握りしめて市場に買物に行き家族の夕食を作っていましたので、大阪の食べ物については旬の知識から旬いまで五感が覚えています。

そして大阪人同士の会話。二人寄ればボケとツッコミ。一日に一度は誰かを笑わさないと学校からの帰り道、なんとなく空しい気持ちになる……私もそんな大阪の子どもでした。

東京に住むようになって、私を含めて大阪の人たちのサービス精神にあふれた会話や単刀直入なコミュニケーションの仕方が独特だということに気が付きましたが……。

歴史遺産の公開は精巧なレプリカで

長柄豊崎宮に始まる大阪の中世以前の歴史を、一般の人に理解してもらえる実証的な手がかりはとて少ない。さらに近世・近代の遺産も戦災に遭い、いまの人たちに大阪の歴史文化の厚みを伝えるのは難しいと思います。

私は有形の歴史文化遺産はレプリカでよいという考えをもっています。たとえ本物があったとしても公開展示すると劣化が避けられません。それならできるだけ精巧なレプリカを作って見てもらえばいいと思います。ただし、その際には、原形と発掘された時の形の両方を作って展示してほしいですね。

難波宮も史実に基づいて忠実に再現した建物を建てて、職員の人たちは当時の服装で働いてもらうのはどうでしょう。

それにつけても今回、児童文学館が閉鎖されるのは惜しい。図書館扱いになって貸し出しに応じるとなると本が痛みます。おなじなら博物館扱いにしてほしいですね。知事が頑張っておられるのはわかりますが、こんな時にこそ長い目で見て財産となるものを残



里中満智子 (さとなか まちこ) 氏

1964年、高校2年生の時に「ピアの肖像」で第1回講談社新人漫画賞受賞。以来、「あした輝く」「あすなろ坂」などヒット作多数。1983年より取り組む持続天皇が主人公の『天井の虹』は、現在21巻目を執筆中。2006年文部科学大臣賞受賞、日本漫画家協会常務理事。大阪芸術大学キャラクター造形学科教授。

大阪市内赤穂ルにて

すべき。限られた予算で工夫するのがほんとうの知恵だと思いませんか。

マンガは世界共通の平等な文化

中学生の時に読んだ万葉集が私の漫画家としての原点です。女性は自分の考えや思いを、男性も自分の弱さを、隠さずに歌にしていますし、処刑囚に同情する歌や税金の厳しい取り立てに国を恨む歌もあります。

当時の人々の正直な声が現代の自分たちとほぼおなじであることに感動したんですね。1300年ほど前の歌集なのに身分的排除や検閲的なことがされていません。男女も同列、農民、豪族、ホームレスの歌もあります。その意味でも万葉集は私の指針です。

10年以上前に日本の漫画家が集まってマンガジャパンというボランティア団体を創りました。その活動のひとつとして、私たちは近い国の人たちと気持ちよく付き合っていきたいという思いで、東アジアの漫画家たちと交流を重ねてきました。

マンガは世界共通の公平で平等な文化であり、世界中の作者は皆平等で、誰が偉いでもない」と主張してきました。幸い中国の人たちもマンガやアニメに対しては日本をとても尊重してくれています。

マンガとおなじように食も自然発生的に浸透した文化。自由で公平な文化です。関西に来る外国人も旅慣れた人は大阪に宿を取ります。京都・奈良・神戸、どこに行くのも便利です。おいしいものを食べて、ホッとできると言いますね。大阪とマンガの文化は通底していると思っています。(談)

上野製薬株式会社

創業90年 世界的視野で取り組む 社会貢献と文化振興活動

パソコンや携帯電話などのプラスチック製電子部品の原料である液晶ポリマーや、食品・化粧品の微生物抑制剤（防カビ剤）などの製法を独自開発し、UENOブランドで年商330億円（2007年度）を上げて世界のトップシェアをもつ上野製薬。創業は1918年。創業者上野政次郎氏が醤油のカビ止めの研究をはじめて以来、大阪大学工学部出身の2代目社長・上野隆三氏（現名誉会長・



代表取締役社長 上野昌也氏

工学博士）による数々の発明・発見が、今日に至る化学薬品事業の発展を支えてきた。「おじいさんの時代は、食品の腐敗が原因で生命をなくす人が多かった。そんな悲劇を繰り返さないために、少しでも世の中の役に立ちたいと思って取り組んだのが食品保存技術。以来、当社の事業の歩みそのものが、社会貢献活動だと思っています」というのは、3代目・上野昌也社長。同社は、事業で得た経営資源の一部を活用し、社業以外にもさまざまな社会貢献活動を行っている。そのひとつが、「タイ国ロイヤルプロジェクト」への参画だ。

タイ、ミャンマー、ラオスにまたがる山岳地帯は黄金の三角地帯と呼ばれ、ケシの栽培が盛んなところ。これに対し、国際的な麻薬撲滅運動の一環として、ケシに代わる換金植物を導入すべくタイ国王室の主宰ではじまったのがこのプロジェクト。上野製薬は1996年からこれに協賛し、北海道産の高級小豆「エリモショウス」



タイにおける小豆のテスト栽培（2008年1月29日 撮影）

を、タイの環境に適した高品質小豆として交配させる栽培実験に取り組んでいる。こうした協力が認められ、2001年、上野名誉会長はタイ国王よりディレクナポン勲章を受章した。



ゲストハウス「太陽の家」（兵庫県西宮市）

また同社は、世界的に事業展開している企業として、CSR（企業の社会的責任）の観点から、国際的援助団体セーブ・ザ・チルドレンの活動に共鳴。貧困や紛争で苦しむ子どもたちを支援するため、小学校建設や子どもの栄養促進事業、教員の要請や経済的援助などを行っている。上野昌也社長はセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（本部・東京都）の理事長として、エイズがまん延するアフリカ南部のスワジランドにも足を運んだ。

一方、国内における企業メセナ活動として、同社はクラシック音楽を通じた国際文化交流事業にも力を注ぐ。弦楽器の世界的名器であるストラディバリの



ストラディバリ「レカミエ」

レカミエ（バイオリン）やシャモニー（チェロ）などを、世界的に活躍する若手演奏家に貸与したり、2000年に建設したゲストハウスで、海外の一流音楽家を招きコンサートを開催。音楽家に活動の場を提供するとともに、クラシック音楽の普及に努めている。「父の2歳違いの兄はバイオリンを弾くのが大好きでした。しかし学徒動員で硫黄島に出征し20歳で戦死。ベートーヴェンのスプリングソナタの楽譜を片時も離さなかったといいます。その無念さを想って、父がゲストハウスを建てました」と上野社長。同社における、社会貢献活動やメセナ活動への思いは深い。

上野製薬株式会社

本社：大阪市中央区高麗橋2丁目4番8号
<http://www.ueno-fc.co.jp>

市民参加で大阪にもっと魅力を 大阪21世紀協会

大阪城新橋ライトアップ

平成20年7月26日～30日

在阪のマスコミや経済界、大阪府・市などによるコラボレーションイベント「大阪城サマーフェスティバル（実行委員長・堀井良殷大阪21世紀協会理事長）」の開催に合わせ、大阪城とOBPエリアを結ぶ「大阪城新橋」をライトアップしました。欄干や水面にLEDの照明が映え、水の都大阪とフェスティバルを一層美しくアピールしました。



720アワード@pamo2007 グランプリ受賞記念公演

平成20年9月6日／OBP円形ホール

独創的なパフォーマンス文化を大阪から内外に発信しようと、720秒という定められた枠のなかで、ダンスなどのパフォーマンスを競う「720アワード」。今年は、昨年度グランプリを受賞したコンテンポラリーダンスグループ「contact Gonzo」による“おごそかな殴り合い”の記念公演が行われました。格闘技系の激しいダンスが披露されると、会場に張り詰めた緊張感が漂いました。



インターナショナル ワークショップフェスティバル 100DOORS

平成20年8月1日～10日

大阪市中央公会堂、芝川ビル、大阪市立芸術創造館

「文化は人が創る」をコンセプトに、体験を通して世代・ジャンル・国境を越えた人々が、自ら進んで明日の大阪の扉（DOOR）を開けようと開催された「100DOORS」。演劇、ダンス、古典芸能、楽器演奏、着付け、アート、メイク、英会話など、バラエティ豊かな体験講座が大阪市内3か所で行われ、子どもから大人まで多くの人が参加しました。昨年度は38講座でしたが、好評につき今年は100講座。参加費をすべてワンコイン（500円）に設定したことも話題となり、テレビや新聞でも大きく報道されました。また本企画は、各界のエキスパートである講師陣と、それぞれの講座のとりまとめ役であるワークショップ・コーディネーター、そして事務局の二人三脚で運営されました。今後も関西独自の「おもろい」や「こだわり」をキーワードに、学術的に解釈されがちな芸術や文化を、より身近に楽しめる市民参加型フェスティバルへと育てていきます。



十二単の着付け公開と試着体験／榎村寛之ほか（斎宮歴史博物館ほか）



吉野和紙あかり作り／坂本尚世（あかり工房 吉野）

大阪文化祭賞贈呈式

平成20年9月2日／大阪府公館

大阪21世紀協会は、大阪の芸術文化活動の奨励と普及を図る目的で、昭和38年より実施している大阪文化祭を平成13年から大阪府・大阪市と共催しています。所定の期間中に大阪府内で行われる公演などを対象に、とくに注目すべき成果をあげた人や団体には、大阪文化祭賞（グランプリ、奨励賞など）を贈呈。今年は5～6月の2か月間で、伝統芸能や現代演劇、舞踊、洋楽など、幅広いジャンルから78の公演参加があり、そのなかからグランプリ1件、奨励賞7件を贈呈しました。



の文化活動

大阪21世紀協会は、行政や市民、NPOなど、さまざまな分野の人や団体とのコラボレーションにより、新しい市民文化の創出に向け活動しています。ここでは、今年夏から秋にかけて、大阪21世紀協会が主催・参画した文化イベントの一部をご紹介します。

第3回 御堂筋学生音楽祭

平成20年9月13日～15日／
大阪府立青少年会館、とんぼりリバーウォーク、
amHALL、CLUB SAOMAI

文化創造にたずさわる学生が大阪には多く存在することをアピールする目的で、2006年から始めた音楽イベント。毎年、大阪を中心とした関西圏の大学生を核に、多くの学生が自ら企画・準備して進めています。今年は第3回を迎え、「つなげる。～City (OSAKA) X Student X Music～」をテーマに、音楽を通して大阪のまちの活性化とイメージアップを試み、あらゆる人・モノをつなげていこうと開催されました。また、「御堂筋学生音楽祭ベストアルバムCD制作」や「とんぼりウォークでカフェ出店とライブ」など、学生自身によるユニークな企画も実施され、音楽が大好きな関西の学生パワーをアピールしました。

第3回御堂筋学生音楽祭実行委員会構成メンバー
大阪大学、大阪市立大学、大阪音楽大学、相愛大学、
関西学院大学、大阪モード学園、大阪21世紀協会(事務局)



とんぼりリバーウォーク(道頓堀)



am HALL (梅田)



大阪府立青少年会館(森ノ宮)

アートストリーム2008 イン サントリーミュージアム [天保山]

平成20年11月2日～3日／
サントリーミュージアム [天保山]

関西を中心に活動している若手アーティストに、作品発表と業界関係者との出会いの場を提供するアートイベントとして2003年にスタート。このイベントでは、毎年出展者を対象に、大阪21世紀協会賞をはじめとするアワードを贈呈しており、その受賞者のなかからメジャーデビューしたアーティストも多くいます。例えば2004年に同賞を受賞した舟田潤子さんは、06年に池田寿夫大賞を受賞。大学卒業と同時にプロの銅版画家としてデビューを果たしました。また2006年に大阪21世紀協会賞を受賞したH@L(ハル)さんは、その後、第24回ニッサン童話と絵本のグランプリで絵本部門の大賞を受賞するなど、多くの若者が国内外に活躍の場を広げています。出展者のレベルは高く、08年度は多数の応募者の中から、104組が出展(アートマーケット97組、2DAYペインティング4組、ステージペインティング3組)。全員プロを目指している人ばかりで、今年は4割が新しい顔ぶれです。業界内では新しい才能を発掘する場としてすでに認知されており、アワードはプロへの登竜門にもなっています。



会場風景



H@Lさん
(アクリル画)の
ブース



公募アーティストが
2日間で仕上げる
[2DAYペインティング]



2008年度大阪21世紀協会賞を受賞したトヨタケルさん(1978年大阪生まれ/イラストレーター)。「4年前、アートストリーム・リバープレイス(湊町)に3人グループで出展し、テンワットギャラリー賞を受賞。すごく励みになり、広告や書籍などの仕事依頼もぐんと増えました。個人での受賞は今回が初めてなので、とても嬉しい。現在、東京での仕事が多いのですが、目指すは世界。ニューヨークで個展を開くのが目標です」

※写真はすべて今年度のもです。

交流サロン「21cafe」

21cafeは、大阪人が歴史的に培った文化や経済などに対する自由闊達な心意気を、現代に受け継ぐ交流サロンです。大阪でさまざまな文化活動に携わる人々の話を聞き、参加者と情報を交換・共有することで、新しいアイデアやコラボレーションのきっかけづくりを促します。大阪21世紀協会主催で、定期的に開催しています。

第13回 21cafe

平成20年8月28日／大阪市北区:レーベルカフェ
ゲスト ヤマトヒロユキ氏(アートディレクター)

アートイベントがつくる新しい大阪

ヤマト氏は、2006年より「御堂筋アートグランプリ」(通称MAG)をプロデュース。音楽・アート・デザイン・ダンス・ファッションなどのジャンルで、予選を勝ち抜いたクリエイター達のファイナルステージを御堂筋上に実現させました。「自分が本当にいいと思えることを、世の中に作り出すのが僕の生きがい」。ヤマト氏の活動はグラフィックに留まらず、空間やイベントのプロデュースまで多岐にわたります。「一昔前の大阪には、大阪から才能あるミュージシャンを出していこう、という動きが街全体にあった。そういう動きを、今度は僕らが担っていきたい」。才能を発掘し、大阪から発信していく仕組みづくりにこだわります。



第14回 21cafe

平成20年9月25日／大阪市北区:レーベルカフェ
ゲスト 木村さやか氏(産経新聞大阪本社)

三浦雄一郎エベレスト登頂に同行して

学生時代にはワンダーフォーゲル部に所属していた木村氏は、三浦雄一郎氏が75歳の高齢でエベレストに挑戦すると聞き、社を説得して総合編集部記者として約2ヶ月間の同行取材を敢行。プロスキーヤーとして高名を博しつつも、登山家としての経験は乏しい三浦氏をサポートするべく組織されたのは総勢33名の登山隊。その紅一点として、高山での極限の状況を経験し、三浦氏の挑戦を日々目の当たりにしてきた木村氏の話は刺激的で、またかつて未踏峰、新ルート開拓を競ったアルピニズムにおける、新たなフロンティアのありかを示す時代の証言としても興味深いものでした。



大阪ブランド情報局NEWS

<http://www.osaka-brand.jp/>

大阪ブランド情報局は、大阪のさまざまなブランド資源情報を発信するホームページです。

「多士彩才」に、新たな才人登場!

「多士彩才」では、現代の大阪を舞台に活躍する、多彩でユニークな人々をご紹介します。また、「大阪万華鏡」アートコーナーでは、作家・演出家の松本雄吉さん(劇団維新派)に取材。松本氏の視点を通して関西野外演劇の神髄に迫ります。メディアコーナーでは関西在住・勤務の外国人を対象にした「Kansai Flea Market」の900号達成ニュースを伝えています。

多士彩才

木田好子氏



中之島全域をネットワーク化させて、大阪の音楽力の発信拠点にするのが夢。

音楽プロデューサー。大阪市中央公会堂で2006年から行われている「中之島国際音楽祭(大阪市など主催)を総合プロデュース。

北口正人氏



阪神コンテンツリンク常務。2007年8月に大阪・西梅田の「ハービスPLAZA ENT」に、多彩なライブ演奏が楽しめる「ビルボードライブ大阪」をオープン。大阪発祥のライブハウス文化に新風を吹き込む。

EVENT GUIDE [イベントガイド]

大阪21世紀協会では、次の各行事を後援・協賛します。みなさまの積極的なご参加、ご支援をお願いします。(平成20年10月27日現在)

	イベント名	日時	会場	主催 / 連絡先	
12月	まっちゃんちサロン	12月1日 14:00～15:30 / 19:30～21:00	山本能楽堂	(財)山本能楽会 06-6846-3369	
	大阪の街道ウォーク 紀州街道・西高野街道	12月6日 集合:9:30～10:10	集合:住吉大社境内	大阪再発見プログラム実行委員会 06-6944-2525	
	サントリー1万人の第九	12月7日 15:00～17:40	大阪城ホール	(株)毎日放送 06-6375-7561	
	第53回 関西新世紀展	12月9日～12月14日 9:30～17:00	大阪市立美術館	新世紀美術協会 大阪支部 072-241-0659	
	ワン・ワールド・フェスティバル	12月20日・21日	大阪国際交流センター	ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会 06-6773-0256	
	財団法人大槻能楽堂 自主公演能	12月20日・ 平成21年1月3日・4日・31日	大槻能楽堂	(財)大槻能楽堂 06-6761-8055	
	第36回 伊勢迄歩講(いせまであるこう)	12月28日～平成21年1月1日	170kmコース:大阪-奈良-橿原-御杖-伊勢 100kmコース:橿原-御杖-伊勢	(財)大阪ユースホステル協会 06-6326-2228	
平成21年 1月	プラレール博 in OSAKA ～ひろがる!ぼくらの立体ワールド～	平成21年1月1日～4日・10日～12日 10:00～17:00(入場16:30)	ATCホール	アジア太平洋トレードセンター(株) 06-6615-5006	
	ジャパン・ヴィルトゥオーズ・シンフォニー・オーケストラコンサート 名手たちの交響楽団第17回 大阪公演	平成21年1月4日 16:30～18:30	ザ・シンフォニーホール	ジャパン・ヴィルトゥオーズ・シンフォニー・オーケストラ運営事務局 06-6262-7322	
	平成20年度 大阪府立花の文化園幼児・小中学生花の絵画展	平成21年1月6日～2月8日 9:00～16:00	大阪府立花の文化園 (フルルガーデン) イベントホール	(財)大阪府みどり公社 / 大阪府立花の文化園企画管理課 0721-63-8739	
	第34回 雅風展	平成21年1月8日～11日 9:30～16:30(最終日15:00)	京都市勧業館 みやこめっせ	(社)全日本小品盆栽協会 046-268-0121	
	第32回 新春走ろうかい 一ひらかたハーフマラソン	平成21年1月12日 8:40～14:00	淀川左岸緊急用河川敷道路 (淀川河川公園 枚方地区:対ト・ゴール・開会式)	(財)枚方体育協会 072-898-8181	
	2009 高槻シティ国際ハーフマラソン大会	平成21年1月18日 9:30～13:30	高槻市陸上競技場 (スタート・ゴール)	高槻シティ国際ハーフマラソン実行委員会 072-763-0159	
	第33回 日本ショッピングセンター全国大会	平成21年1月20日～22日	インテックス大阪 ハイアット・リージェンシー・オオサカ	(社)日本ショッピングセンター協会 06-6346-0290	
	上方文化再生フォーラム	平成21年1月24日・2月7日 18:30～	TORII HALL	上方文化再生フォーラム実行委員会 06-6211-2505	
	2009 大阪国際女子マラソン大会 および 2009 大阪ハーフマラソン	平成21年1月25日 11:10～16:00(スタート12:10) ※ハーフマラソンは11:10スタート	長陸上競技場(スタート・フィニッシュ) ～新橋(折り返し) ※ハーフマラソンは、大阪城公園フィニッシュ	大阪国際女子マラソン事務局 / 産経新聞社事業局 06-6633-9270	
	「おすすめわが店のヘルシーメニュー 2008」人気コンテスト表彰 「ヘルシー・外食フォーラム 2008」	平成21年2月4日	大阪樟蔭女子大学	大阪ヘルシー外食推進協議会 06-6910-6338	
2月	大阪三曲協会 第55回記念 各派名流演奏会	平成21年2月8日 11:00～16:30	NHK大阪ホール	大阪三曲協会 06-6245-0366	
	第13回 大阪武道祭	平成21年2月11日 12:30～16:00(予定)	大阪市中央体育館 サブアリーナ	大阪武道協議会 / 大阪府柔道連盟事務局 06-6585-1712	
	だいとう検定	平成21年2月14日 10:00～12:00	大東市立総合文化センター 多目的小ホール	NPO法人大東夢づくりコミュニティ 072-816-0801	
	歌舞伎公演 「萬夜一夜先代萩」	平成21年2月14日 13:00～15:30 / 18:00～20:30	堺市立東文化会館 文化ホール	特定非営利活動法人日本伝統芸能振興会関西支部 06-6574-6911	
	第48回 農林水産祭参加 第58回 全国水産加工たべもの展	品評会:平成21年2月14日 展示会・表彰式:平成21年3月24日	品評会:大阪豊筋商工業協同組合ビル 展示会・表彰式:大阪キャッスルホテル	全国水産加工たべもの展運営委員会 06-6771-3807	
	第16回 泉州国際市民マラソン大会	平成21年2月15日 スタート11:00	泉州国際市民マラソンコース 浜寺公園(スタート)～りんくう公園(ゴール)	泉州国際市民マラソン実行委員会 072-436-3440	
	2009 大阪工芸展	平成21年2月20日～24日 10:00～18:00(最終日15:00)	アジア太平洋トレードセンター ITM棟 10階デザインギャラリー	(社)大阪工芸協会 06-6282-5677	
	Osaka Prix 第10回 クラシックバレエ・コンクール	予選:平成21年2月21日・22日・3月14日 各部決選・表彰式:平成21年3月15日	大阪国際会議場	産経新聞社・産経新聞開発(株) 06-6633-6849	
	3月	2009 ZERO展	平成21年3月3日～8日 9:30～17:00	大阪市立美術館	ニューアートZERO会 072-241-9075
		第16回 大阪アウトドアフェスティバル 2009	平成21年3月7日・8日 10:00～17:00	インテックス大阪	テレビ大阪(株) 06-6947-1912
月清古曲保存会伝承と育成の為の ～第34回 地歌と語り～		平成21年3月18日 18:30～20:30	国立文楽劇場 大ホール	月清古曲保存会 06-6245-0366	

大阪21世紀協会 賛助会員へ入会のご案内

大阪の活性化のため、皆様のご支援をお願いします。

会費(何科でも結構です) ■法人会員 一口につき年会費10万円 ■個人会員 一口につき年会費1万円

特典 ①協会が発行する刊行物の配布 ②協会が主催する各種セミナーなどへの案内
③賛助会員の参考となる情報・資料の提供など

お問合せ (財)大阪21世紀協会 総務グループ TEL.06-6942-2001

本誌についてのご意見・ご感想をぜひお聞かせください。

[宛先]

〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町1-1 大阪キャッスルホテル4階
(財)大阪21世紀協会
大阪ブランドグループ 広報誌担当宛 FAX.06-6942-5945



おたがいの 人権守って 明るい社会

誌上舞台

落語

江戸中期に成立した身振りや語りだけで物語を進める話芸。上方落語と江戸落語によって演目や道具、慣習が異なる。滑稽落語の他、人情落、芝居落などもある。

名奉行を唸らせた、とんち小僧 佐々木裁き

案内人 笑福亭學光

名奉行といえは「遠山の金さん」や「大岡越前」が有名ですけど、大坂にも佐々木信濃守という方がいてはるんですよ。嘉永年間に東町奉行をしていた実在の人物で、落語では西町奉行として登場します。



住まいのミュージアム「大阪くらしの今昔館」
地下鉄・阪急「天神橋筋六丁目」下車すぐ

東町奉行所は今の大阪合同庁舎1号館、西町奉行所は大阪商工会議所のあたりにあつたそうです。

この噺には、「四郎吉は信濃守に養育され、後に与力として出世した」と結ぶんと、役人の綱紀肅正と四郎吉が桶屋の息子であることを引つけて「籠を締めた」とサゲる、2種類あります。私が先代の故・桂歌之助兄さんから習ったのは籠のほう。四郎吉が大人になる時は明治で、奉行所は無くなつてきたオチですけど、木桶を知らん人には難しいやろなあ。

「大阪くらしの今昔館」には江戸時代の商家や長屋が原寸大で再現されていて古い道具も置いてありますから、若い方は籠のはまった木桶を確かめてみてください。オチの意味がわかりますよ。先に結末バラしましたけど、この噺は奉行と四郎吉のやりとりが聞きどころ。父と母のいずれが好きかと聞かれた四郎吉、饅頭を二つに割って「どっちがうまいと思えますか」とかね。「休さんみたい！子どもは誰しも大人が考えつかん発想したり面白いですよ」と言ったりしますよ。私よう小学校で公演するんですけど、低学年の子ほど

物怖じせんと「オッチャン何者？」つて話しかけてくるんです。で、ある子に「何やと思う？」つて聞いたら「お地藏さん」やつて!!

四郎吉は楽しみながら演じられるんですが、侍言葉には苦心しています。例えばお白州に四郎吉を呼び出した信濃守が「同出ておりますか」と問う場面。時代劇みたいに「出ませ！」なんて威圧せえんのです。何ででしょ？歌之助兄さんが言うてました、「四郎吉は罪人とちやうからや」つて。奥が深いでしょ。落語はビデオでも覚えられますけど、教わらんとわからんこと多いはい。人から人へ伝える習わし、大事にしていきたいですね。

物語のあらすじ

落語「佐々木裁き」

住友の浜で、お白州ごっこに興じている子どもたちの様子を眺めていた西町奉行の佐々木信濃守は、奉行役の四郎吉の知恵に感心し、家来に奉行所まで連れてくるよう命じます。四郎吉の父親は「お咎めを受けるのでは」と案じますが、当の四郎吉はお白州に出てもまったく平気。奉行が繰り出す難問奇問にとんちで答え、居並ぶ役人たちを唸らせます。この噺は明治二〇年代、三代目笑福亭松鶴が講釈種を元に作ったと言われています。後に東京にも伝わり、江戸落語では「佐々木政談」「池田大助」として演じられています。

落語家

笑福亭學光



徳島県出身。昭和50年笑福亭鶴光師に入門し、52年に初舞台。多彩なレパートリーを持ち、玉すだれや腹話術（人形の名は笑福亭小学光）も得意。笑いを健康に生かす「お笑い福祉士」の提唱をはじめ、「四国」の観光を考える100人委員会「委員、阿波踊り」はなしか連「主宰など幅広い分野で活躍する。著書に中国でのボランティア体験を綴った『學光学校』浪速社。ブログは <http://www.dios-kiatsenri.co.jp/awadon/>

落語を聴きに行きませんか

● 町家寄席

12月7日(日)・平成21年1月11日(日)
14時10分〜15時10分 入館料のみ
会場／大阪くらしの今昔館
交通／地下鉄・阪急「天神橋筋六丁目」下車
☎06-6242-1170

● オーク弁天寄席

毎月第4水曜日19時〜20時30分無料
出演／笑福亭學光、旭堂南麟 他
会場／弁天町市民学習センター
交通／JR・地下鉄「弁天町」下車
☎06-6577-1430

● オーク弁天寄席 in 繁昌亭

平成21年1月28日(水)10時〜2500円
出演／笑福亭學光、旭堂南麟 他
会場／天満天神繁昌亭
交通／JR「天満橋」地下鉄「南森町」下車
☎06-6335-214874